# 社会経済情勢の変化と海事行政における対応の方向性

## 経済社会情勢の変化

### （制約要因）

#### 需要減少

■人口動態の変容
・人口減少・少子高齢化
・過疎化の更なる進行

■我が国の経済状況
・経済成長率の鈍化
・企業の海外移転

■我が国の財政
・税収の低迷と財政の硬直化

#### 競争激化

■外国企業の技術力向上

■国家戦略としての産業競争力強化の取組み

■国際的M＆A

#### コスト増大

■環境問題
・環境規制の導入・強化

■エネルギー問題
・原発停止に伴う電源構成の激変
・原油等の価格高止まり
・エネルギー調達コストの増加と我が国の国際収支への影響

■事故への対応
・社会的影響の増大
・安全規制の強化

■災害への対応
東日本大震災の教訓
災害リスクへの備えに対する社会的要請
（三連動地震、首都直下）

### （成長可能性）

#### 成長分野

■海洋資源開発
・海底石油、ガス
・メタンハイドレート、熱水鉱床

■海洋再生エネルギー
・洋上風力
・波力、潮力

■資源輸送
・調達国の多様化

■環境・IT技術
・ビックデータ、M to M

■観光
・観光立国（インバウンド）
・国内シニア市場

#### 成長市場

■ASEAN
・製造業の生産拠点
・消費人口の飛躍的拡大
・高い経済成長

■豪州
・資源開発プロジェクト
（液化水素を褐炭から生産）
・LNG輸出

■ブラジル
・資源開発プロジェクト

■EEZ
・国土の12倍の面積
・豊富な海底資源

■北米
・LNG輸出
（シェールガス革命）
・パナマ運河拡張

■露
・シベリア開発
（ヤマルLNG）
・北極海航路

## 視点

- 産業競争力の向上
- 地域の活性化・くらし
- 人材確保・育成
- 科学技術・イノベーション
- 国際展開・貢献

## 海事行政の方向性（案）

### 産業競争力の向上

#### 使いやすい地域公共交通の実現

・生活航路の維持・確保
・地域公共交通の再編・利便性向上
・国と地域の役割分担
・交通弱者への対応
（バリアフリー等）

#### 我が国産業を支える安定的・効率的な物流

（外航）
・我が国商船隊による安定輸送、国際競争力強化
（内航）
・モーダルシフト促進等による海上交通ネットワークの競争力強化
・老朽船の代替建造促進
・船舶管理会社を核とするｸﾞﾙｰﾌﾟ化、集約化
（国際コンテナ戦略）
・フィーダー輸送活性化による欧米コンテナ航路の維持

### 地域の活性化・くらし

#### 海洋立国を支えるものづくり

（造船）（舶用工業）
・造船企業の統合・再編による受注力・競争力強化
・高付加価値船の受注促進
・技術開発、実用化
・ASEAN等への進出

#### 海洋立国を支える人材の確保・育成

・日本人、若年船員、優秀な外国人船員の確保
・魅力的な労働環境の整備
・技術・技能の伝承
・資格・技能の取得支援
・海事広報の強化、国民の海への親しみ・理解の向上

### 人材確保・育成

#### グローバルな需要の取込み

・海洋産業（海洋資源開発等）の戦略的育成（技術開発、海外展開支援）
・エネルギー輸送ルートの多様化への対応
（パナマ運河、北極海航路、液化水素 運搬船）
・日本企業の海外展開支援（製造業のサプライチェーン支援）
・ASEAN向けシステム輸出（安全基準、船舶管理、人材育成）

#### 観光立国の推進

・クルーズ・国際定期旅客船の振興
・国内航路の利用環境改善・利便性の向上
・マリンレジャービジネスの振興
・オリンピック・パラリンピックを契機とした舟運活性化

### 科学技術・イノベーション

#### 環境負荷の低減

・新技術の開発・普及
・海洋再生可能エネルギーの利活用促進
（洋上風力発電、波力発電、潮力発電等）
・モーダルシフトの促進
・環境性能の高い船舶への代替促進
・IMOを中心とする国際的枠組作り、途上国への技術支援
・天然ガス燃料船の実用化

### 国際展開・貢献

#### 安全・安心の確保

・安全基準の整備及び検査体制の充実
・船舶の運航監理等の充実
・水先制度による安全の確保
・IMOを中心とする国際的枠組作り、途上国への技術支援
・津波救命艇の普及促進
・旅客、船舶の津波避難態勢の改善
・大規模災害時の船舶の有効活用

#### IT技術の活用

・ビックデータによる運航、保守遠隔管理

（海事分科会第1回基本政策部会資料）